

金沢大学における感染症対策5年間の推移

—新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体検査と予防接種勧奨—

2010.10.20-21 第48回全国大学保健管理研究集会、ポスター資料

金沢大学における感染症対策5年間の推移

—新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、
水痘の抗体検査と予防接種勧奨—

金沢大学保健管理センター
 ○吉岡 妙子、田上 芳美、畑田美智子、依木 晴美、西原百合子、
 高 紀子、亀田 真紀、吉川 弘明、内山 勝峰、清水 貴保、
 尾立 由美、鈴木 雅一、小泉 順二

目的

- 2006年度4月から、感染症対策の第一歩として学部一年生を対象に、麻疹・風疹・流行性耳下腺炎・水痘の抗体検査と予防接種勧奨を行っている。
- 今回、2010年度までの5年間に渡って実施してきた結果について報告する。

方法

抗体検査実施

- 全ての学部(学域)新入生に対し、書面による同意取得のもと定期健康診断時に麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘に対する抗体検査を実施。
- 抗体価の判定は金沢大学の基準による。(表1)

	測定法	基準対象
麻疹	EIA(IgG)	<4.0
風疹	H	男性: ≤8 (倍) 女性: ≤16 (倍)
流行性耳下腺炎	EIA(IgG)	<4.0
水痘	IgM (2007年4月全別) EIA(IgG)(陽性)	≤2 (倍) <4.0

表1 予防接種勧奨基準抗体価

- 抗体検査料金は、2006年度自己負担で実施。2007年度からは、自己負担なしで実施。

予防接種勧奨

- 予防接種の会場は、学内で実施できるよう外部医療機関に委託。
- 検査結果報告書は、一年生全員が受ける授業を使って直接手渡した。その際、予防接種対象者に予防接種日程を記載した用紙と料金の振り込み用紙を同封した。

結果1

抗体検査受診率と予防接種対象者数

年度	対象者	抗体検査受診	受診率	予防接種対象者			
				麻疹	風疹	ムンプス	水痘
2006	1,840	1,694	92.1%	183	256	240	51
		(72)		(11)	(14)	(14)	(3)
2007	1,797	1,792	99.7%	141	389	321	49
		1,766	96.0%	194	270	254	54
2008	1,824	1,822	99.9%	132	367	316	85
2009	1,821	1,820	99.9%	38	179	349	79
2010	1,801	1,798	99.8%	53	255	362	74

※2006年度は、2005年度に抗体検査を受けず(内数)は2007年度に受けた学生が追加されている。そのためムンプスヘルペス2007のデータと分れている。

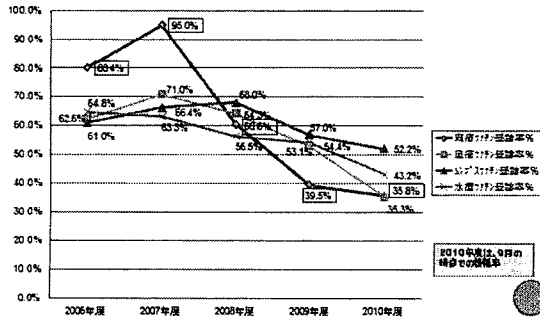
結果2

予防接種対象率

年度	麻疹 (%)	風疹 (%)	ムンプス (%)	水痘 (%)
2006	15.2%	14.1%	11.0%	3.1%
2007	21.7%	17.9%	7.5%	2.7%
2008	20.1%	17.3%	7.2%	2.1%
2009	18.2%	12.9%	4.3%	2.1%
2010	20.1%	14.2%	4.1%	2.9%

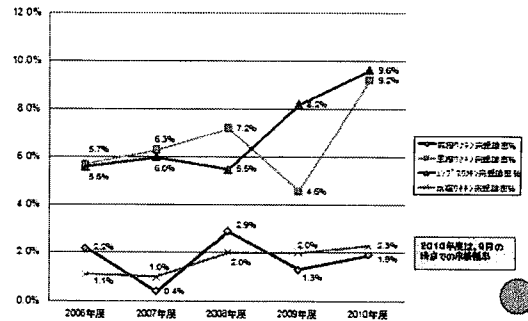
結果3

勧奨による予防接種の接種率



結果4

抗体検査受診者に対して勧奨予防接種の未接種率



考察

- 抗体検査の実施は、自己負担でも92.1%の希望者がいたが、自己負担なしとなったからは受診率が上がり、ほぼ全員が受診している。
- ほぼ全員が受診する入学時定期健診で、抗体検査を行うことは、感染症への注意喚起に有効であると思われる。
- 予防接種対象者の推移には、麻疹の流行や第4期MR混合ワクチンの接種など状況の変化が大きく影響していると考えられる。
- 予防接種を勧奨した内、実際の接種率は、2008年度までは50%を上回っていたが、その後低下が見られ、2010年度には多くの項目で50%を切っている。

結語

- 入学時の定期健診は、ほぼ全員が受診するため、同時に抗体検査を実施することで、受診率が高まり感染症対策への注意喚起に有効である。
- 自己負担をなくしたことで抗体検査の受診率はより高くなった。
- 予防接種を勧奨しても、必ずしも対象者は予防接種を受けるわけではない。この点については、今後の課題である。

- 宮崎節子、田上芳美、池田美智子、柿本晴美、芦原百合子、高 紀子、亀田真紀、吉川弘明、内山勝晴、清水美保、足立由美、鈴木健一、小泉順二：金沢大学における感染症対策5年間の推移 - 新入生に対する麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘の抗体検査と予防接種勧奨 - 第48回全国大学保健管理研究集会、千葉、2010.10.20-21